

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(2)-ウ	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進	施策	②個性を大切にし、個々の能力を伸ばす教育の推進
			施策の小項目名	○情報教育の充実
主な取組	児童生徒・学生がICTに親しむ取組みの推進		対応する成果指標	「自分には良いところがある」と考えている児童生徒の割合
施策の方向	・プログラミング教育など情報教育の充実を図り、情報活用能力の向上に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
児童・生徒を対象とした未来のIT人材を育成する様々な事業やITに関する魅力と可能性を伝えるイベント等に対する支援を行う。	県,民間	ITスキル習熟イベント、IT広報イベントの開催支援		
		イベント開催数(累計)		
		50回	50回(100回)	50回(150回)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	沖縄未来のIT人材創造事業			予算事業名	沖縄未来のIT人材創造事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	18,566	18,680	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	補助	16,755
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
幅広いIT人材の育成・確保に繋がるITスキル習熟に関する事業や、ITの魅力等を伝える広報イベント等に対して補助を実施した。				引き続き、幅広いIT人材の育成・確保に繋がるITスキル習熟に関する事業や、ITの魅力等を伝える広報イベント等に対して補助を実施する。		

活動指標名	イベント開催数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	-回	-回	352回	50回	100.0%	順調	プログラミング教室やロボットコンテスト(全国大会の沖縄予選)等を実施する取組、出前講座やIT企業訪問を行う取組等に対し補助を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

- ・幅広いIT人材の育成・確保に繋がる様々な取組への支援により、イベント開催数が目標値を大幅に超過していることから進捗状況を「順調」と判定した。
- ・イベント支援を通じた成果目標：参加者数500人に対し6,694人の参加実績となるなど、数多くの児童・生徒のICTへの興味を喚起し魅力を伝えることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育庁と連携し、本事業の広報を強化することにより参加者の裾野を広げる取組を実施する。</li> <li>・職業講話やIT広報イベント等において、情報通信産業やIT技術の重要性について知ってもらい、幅広い層の興味・関心を喚起する取組を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県教育庁と連携し、本事業の広報を強化することにより参加者の裾野を広げる取組を実施した。</li> <li>・職業講話やIT広報イベント等において、情報通信産業やIT技術の重要性について知ってもらい、幅広い層の興味・関心を喚起する取組を展開した。</li> </ul>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	事業者において自立的な取組として継続できるようにする必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	小学校の学習指導要領改訂により、論理的な思考能力を養うことを目的としたプログラミング教育が必修化等された。



4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	事業者において自立的な取組として継続できる方向で支援内容のあり方を検討する。
② 連携の強化・改善	引き続き県教育庁と連携した広報・周知等により、参加者の裾野拡大を図る。